

高瀬神社 社報

越中一宮

第45号

平成27年4月1日

越中高瀬神社
一宮
<http://www.takase.or.jp/>

撮影：南部スタジオ

社頭講話

「街道」

宮司 藤井秀弘

三月十四日に待望の北陸新幹線が開業しました。富山駅から東京駅まで二時間ほどで行けるようになり、これまでの交通手段に比べると格段に早くなりました。飛行機やバスなど他の交通手段がその影響をうけているようですが、利用者としては選り好みが広がり、便利になったのではないかと思います。

今でこそ新幹線や高速道路といった交通網が整備され、快適な輸送環境が出来上がっていますが、昔は鉄道にしても国道や県道にしても十分に整備されていませんでした。世の中全体がのんびりしていたこともありませんが、現在とは隔世の感があります。

昭和三十年代、自家用車が普及し始めた頃に中古車を買いました。主に通勤に使っていましたが、旅行にも出かけました。ある年、父と母を乗せて「出雲大社」参拝に出かけました。当時は高速道路もなく、地図を見ながら国道、県道をひたすら走りました。その道のりの長かったことは忘れられません。昨年、光栄にも出雲大社権宮司千家国麿さんの結婚披露宴にご招待賜り、参列させていただきました。その折も自家用車で向かいました。自宅からの距離は六百数十キロありましたが、父母を乗せて走ったあの時と比べると、その距離感は格段に近くなったように感じました。

各都市間を結ぶ主要道路、または、ある場所からある場所へ至る道や神社・寺院に通じる道を「街道」と言います。東海道や甲州街道など江戸時代の五街道をはじめ、伊勢街道や熊野古道、高野街道など有名ですが、私の中では出雲大社に至る道を「出雲街道」と命名しています。

昔から街道という道路は、生活・信仰・文化の発達に大きな役割を果たしてきました。昨年、敦賀と小浜間の高速道路が開通したことによって、若狭街道が中国道と北陸道とを結ぶことになりました。これによって九州、四国、中国方面から北陸以北への人や物の流れが活発になり、文化交流にも大きく貢献するのではないかと思います。

「街道」は実際の「道」ばかりではなく、「出世街道まつしぐら」というような使い方もします。会社など、社会的な地位が順調に昇進して、立派で尊敬される

人を指すのでしよう。「街道」は人のためになる道路ですから「出世街道」を行く人は、人が行き交う街道の大路小路を具に見聞して、世のため人のために尽くすことが大切ではないかと思いません。他を利用することがやがて自分を利用することにつながり、ついには会社の社長や団体の代表に推挙され、本当の出世街道を歩むことになるのではないのでしょうか。

四月は新年度が始まる月であり、季節的にも春爛漫となり、じつとしていられない、動きのある時期であります。立身出世を志す新社会人や春の陽気に誘われて旅に出る人など「街道」を行く人たちが多くなる季節です。いづれにしてもそれぞれの歩む街道から外れることなく、目的とする地点まで全うな道のりを進んでいただきたいと願っています。

祭事暦

節分祭

二月三日午後三時より「節分祭」が斎行され、参列者約百名が一年の無病息災を願いました。

当日は「立春」らしい暖かい陽気に包まれ、祝詞の奏上、神楽「剣の舞」奉奏に続いて、神職と巫女が一齐に「福豆」を撒きました。

参拝者は「福」を呼び込もうと、両手いっぱい手を伸ばしたり、服を広げたりと、熱心に福豆を集めました。



紀元節祭

神武天皇の建国の偉業を偲び、更なる繁栄と世界の恒久平和を祈る

「紀元節祭」

が二月十一

日午前十時

より斎行さ

れ、福野松

風会（苗田

美岳会長）

が建国を

祝って、吟

詠を奉納さ

れました。

奉納曲

【御本社】

「花朝澱江を下る」藤井竹外

「後夜仏法僧鳥を聞く」空海

「絶句」杜甫

「事に感ず」于漬

「春日村行」木村岳風

【功霊殿】

「新年雪裏の梅花に賦す」

有智子内親王

「時に憩う」良寛



祈年祭

二月十七日午前十時より、氏子崇敬者約四十名参列のもと「祈年祭」が斎行されました。

祭典では今年の五穀豊穡と産

業発展を祈りました。神楽「浦

安の舞」に続き、井波松風会に

よる吟詠も奉納されました。

奉納曲

「日本を愛す」丘灯至夫



鎮火祭

三月八日午前十時より「鎮火祭」が斎行され、氏子並に地元消防関係者約二十名が参列しました。

御本社での祭典終了後、小雨の降る中「鎮火行事」が行われました。

神話に基づき、権宮司と南砺市消防団井波方面団高瀬分団・岩倉清孝分団長が瓢の「水」、笠田武司副分団長が「川菜」、岩倉和弘部長が「砂」をかぶせて消火しました。

火の恵みに感謝し、火災が起きないように祈りました。



社のごまわい

平成二十七年 初詣

本年の初詣は年末からの寒波襲来により、雪の舞う正月を迎えました。三が日の積雪量は過去五年間で最多となり、参詣者は例年よりやや少ない約十五万人（昨年十六万人）でした。

悪天候の中ではありましたが、南砺警察署をはじめ、関係各位のご協力により、事故もなく初詣期間を終える事が出来ました。七十名の奉仕巫女さんたちは、寒さ厳しい中にもかかわらず、清々しく参拝者をお迎えしました。



一月三日、福野糸瓜句会（梅島くを会長）の「初詣句会」が開催されました。奉納句は次の通りです。

どの巫女の手より破魔弓授かるか
華やぎの手毬の垂れし句会かな
参道のめでたき雪のしまき浴び
手水舎の屋根雪どつと三日かな
塗り椀も九谷も拭ひ年用意
大絵馬に迎へられけり初詣
産み月の子と連れ立ちて初詣
封を切る幼馴染の初便
お降りや朱の橋渡る赤い靴
雪しづれ御神木より光り落つ
雪しづれかむりて進む一の宮
心張り棒余命にかけて去年今年
新しき生命を祈る初詣
新玉の巫女の鈴の儀清々し
人波に揉まれ手合す初詣
花のごと枝のみくじや初詣



八方除守

越中一宮 高瀬神社

- 梅島くを
- 若土 白羊
- 宇波可津志
- 平野 孝純
- 田上真知子
- 有川 寛
- 有川 公子
- 森田 桂子
- 今井 淳良
- 長谷 登世
- 大浦 昌美
- 中村 芳枝
- 中川 英堂
- 佐々木春子
- 高原 禮子
- 五十嵐千重子

功靈殿にお祀りされる英霊(戦後七十年を迎えて)

(魚岸一弥記)

碑いしづみに見える高瀬の英霊

石碑は、記念碑・戦没碑・歌碑・句碑など多くの種類があり、全国各地に見られますが、普段の生活において風景と同化してしまい、内容まであまり気に留める機会が少ないように感じます。特に戦没碑・忠魂碑等は国家の為、散華された英霊の碑であり、建立にあたり御遺族の方々も並々ならぬ思いを持っておられた事だと思えます。今年には戦後七十年の節目にあたります。改めて碑を見かけましたら、一度立ち止まって英霊の御事績に触れてみては如何でしょうか。

故従六位勲五等
陸軍航空少佐 齋藤清志忠霊碑

松村謙三 謹題

君は齋藤家四代常治の六男として 大正九年三月二十一日此の地に生を享く 昭和十五年陸軍士官学校五十三期卒業 高田師団付となり満洲に派遣 歩兵少尉に任官 後宿願の航空に転科 熊谷 浜松西飛行学校に学び十六年六月中尉に任官 九月卒業直ちに北支派遣軍五十八戦隊菅原部隊に属し北京に駐屯 重慶爆撃に初陣を飾る 旬日にして馬來派遣軍高一九二五部隊重爆隊に配属 十二月八日未明ペナン島敵拠点に初空襲を敢行し大東亜戦争に参戦す 爾来一年有半 馬來 泰 ビルマ 佛印 比島各地に転戦奮闘 就中同十二年二十五日のラングーン初空襲の大戦果は当時朝日新聞にその武勲を讃えられたり 同十七年十月航空士官学校生徒隊区隊長を拝命 十八年大尉に昇進 十九年八月航空士官学校狭山分

校教育班長となる 同二十年一月埼玉県本庄町東部第二三七八部隊第三中隊長に迎えられ部隊再編成に努力す この時局愈々逼迫 太平洋上の敵艦船群本土に迫る 二月十五日夜半 突如敵艦船群攻撃せよとの命下り 十七日午前十一時本庄飛行場離陸 浜松を経て一路硫黄島に向け 出撃九機編隊の指揮をとる この日敵上空まれなる悪天候の為攻撃不能により全機引返したるも 君は単機にて極限の低空搜索を敢行し以て敵大艦隊を補足攻撃 大型巡洋艦一隻 艦種不詳一隻を撃沈 最後に自ら戦艦に体当たりして轟沈 一機三艦無類の大戦果を収め壮烈なる戦死を遂ぐ 時に行年二十五才 この事實は硫黄島の海軍基地よりの無電 偵察機の確認により大本営発表にて明らかなり 然るに戦ひ我に利あらず 同年八月十五日日本軍は無条件降伏終戦となる 嗚呼君の偉業遂に実らずと雖も 魂魄は永遠に返りて

平和日本の礎となる 畏くも天皇陛下よりの感状下賜ありたる事及び二階級特進は 軍司令官始め部隊上司より夫々伝達ありたるも 部隊解散証拠書類焼却により この赫々たる武勲について実証し得ず 洵に痛恨禁ずる能わず 然れども本事實は家門の誉れとして永く子々孫々に伝承し忠魂を顕彰 安眠を祈りてこの碑を建立す

昭和四十四年七月

五代兄 成正撰並建



北陸新幹線 開業の立役者

北陸新幹線開業に沸き立った本年三月十四日の早朝、当神社にある「岩川毅之翁像」にこの旨を奉告しました。岩川毅氏(大正三〜平成五)は砺波市の出身で、当神社の責任役員を務められ、宝物殿の建設など多大な貢献をされました。岩川氏は、一代にして製紙・運送・印刷業などの中越グループを築き上げ、昭和二十二年から富山県議会議員三期、同三十年からは議長を務めたほか砺波商工会議所会頭



として、郷土の発展に尽力された人物です。

その功績は「夢の平」の開発・北陸自動車道構想・砺波インターの開設など枚挙に遑がななく、今回の北陸新幹線も発端は岩川氏に拠るものでした。同四十年九月金沢市で開かれた一日内閣の席で、「太平洋側と比べ日本海側は交通網に遅れをとっている。東京から北陸を通って、大阪につながる北回りの新幹線を建設していただきたい!」と、当時の佐藤栄作首相に熱心に訴えました。これを機に北陸では新幹線誘致の気運が高まり、この度の開業へとつなが

がっていきます。

今年、岩川氏が北陸新幹線の構想を打ち出して五十年になりました。構想から長い道のりではありましたが、郷土の発展を心から願った岩川氏の目に、この開業はどのようにつながっているのでしょうか。(魚岸一弥記)

ご案内

奉納

○「金一封」

藤井 孝行殿

氏子

○「介護用車いす」

南砺市

馬羊友会還暦の会殿

平成二十七年一月二十八日



○絵画「紅白梅」

富山市・日展会友

津幡 光清殿

平成二十七年二月二十八日



戌の日(安産祈願)

4月	4・16・28日
5月	10・22日
6月	3・15・27日
7月	9・21日
8月	2・14・26日
9月	7・19日
10月	1・13・25日
11月	6・18・30日
12月	12・24日

腹帯のお祓いも行いますのでご持参下さい。

編集後記

一月二十五日「第六十一回文化財防火デー」に合わせ、消防避難訓練が行われ、当神社自衛消防隊員をはじめ南砺市消防団井波方面団、南砺消防署井波庄川出張所、氏子の皆様と万一の災害に備えました。

一月十七日は「阪神淡路大震災」より二十年、三月十一日には「東日本大震災」より四年が経過しました。

本年は乙未の歳。心穏やかな未に肖って、自然災害の無い、平穏な一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



【表紙写真】 境内に咲く水仙

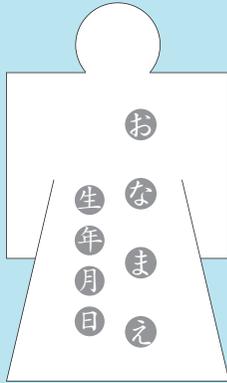
「平成二十七年夏越の大祓」のご案内

なごし おおはらえ

日時 六月三十日(火) 午後三時より

「大祓」は、知らず知らずのうちに犯した罪穢を半年に一度祓い落として元の清らかな心身に戻り、続く半年も健全に過ごせるよう願う神事です。

拝殿にて「大祓詞」を奉唱し、各人が「人形」に罪穢を移し、特に「夏越の大祓」は前庭に設けられた「茅の輪」をくぐり、心身を清浄にもどします。これからの暑い夏を健康に乗り切るための大切な神事です。どうぞご参列下さい。



※ご希望の方には案内状と人形を送付いたしますので、社務所までご連絡下さい。(〇七六三)八二一〇九三二

第十六回 人形感謝祭のご案内

にんぎょうかんじやさい

日時 七月十九日(日) 午前十時より

古くなった人形に感謝し、神社へ納めるお祭り「人形感謝祭」を行います。納められた人形はお祓いの後、お焚き上げをしてお別れします。子供の成長とともに使わなくなったり、壊れたりした「人形」や「ぬいぐるみ」をご持参下さい。



受付 午前九時から午前十時まで(当日のみ受付)

祈願料

三千円からご志納願います(みかん箱一つ程度)

※大量にある場合や大きなものについては、事前に社務所へお問い合わせ下さい。

(〇七六三)八二一〇九三二

第十五回 人形展(一期一会)

七月十八日(土)～二十日(月・祝) 開催

午前十時～午後四時

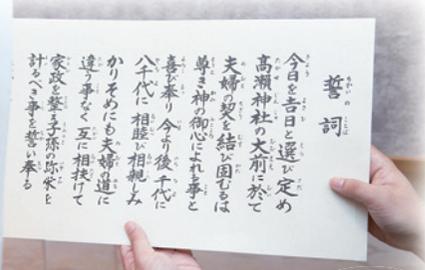
お二人の誓いが千年後も続きますように



この地で二千年の歴史をもつ越中一宮 高瀬神社は、
縁結びの神様 おおくにぬしのみこと 大国主命をまつる神社として多くの
神前挙式を執り行い、お二人の幸福を願ってきました。

誓詞奏上～夫婦結びの決意を神様の前で誓います～
夫婦の誓いが末永く続くよう、誓詞には千年もつといわれる
「五箇山和紙」が使われております。
高瀬神社とお二人の誓いが永遠につながります。

縁結びの神様に誓う
伝統の結婚式を挙げていただく、
一生に一度の日だからこそ、
一日一組のカップルの為だけに、
このバンケットは生まれました。



一日一組限定の
おもてなしバンケットホール

このバンケットホールでのご結婚披露宴のご予約を承っております。
お気軽にお問い合わせ、ご相談いただけますよう、お待ちしております。

只今
ご予約
受付中

あなたの人生に、神社がある。越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社  検索